

三重大学医学部附属病院で 「統合医療・鍼灸外来」が始まりました！

平成19年に三重大学と鈴鹿医療科学大学の間で包括協定が締結され、以降、両大学による健康をテーマにしたセミナーが開かれてきました。平成22年7月には、三重大学医学部附属病院で「統合医療・鍼灸外来」が開始され、鈴鹿医療科学大学鍼灸学部の教授陣や卒業生の鍼灸師が施術しています。みえメディカルバレーの統合医療推進事業で中心的役割を担ってきた実績を持ち、「統合医療・鍼灸外来」の設置にも注力された鈴鹿医療科学大学鍼灸学部長の佐々木和郎教授にお話を伺いました。



佐々木和郎教授

—— 統合医療の現状について教えてください。

佐々木先生 統合医療とは西洋医学と、安全性・有効性がある程度ははっきりしている鍼灸・漢方薬などの伝統医学を積極的に取り入れ、統合的な治療とケアを目指す医療です。欧米では、盛んになってきており、日本でも大きな病院で取り入れられていますが、中部地区では、三重大学医学部附属病院が初めてです。

—— 具体的にはどのような方法の施術で、どのような患者さんに施すのでしょうか。

佐々木先生 鍼灸医療とは鍼と灸で、経穴（ツボ）に対し、施術を行い、慢性的な身体の痛み・不調などに対応しています。肩こり、腰痛、膝痛、関節痛などの慢性的な痛みやだるさ、手足の冷え、耳鳴・めまい、しびれなどの神経症状に適しています。しかし、一口に腰痛といっても、ギックリ腰のような腰痛もあれば、まれですが癌の転移が原因の腰痛もあり、患者さんのお話をよく聞き、その患者さんに合ったオーダーメイドの治療をしなければなりません。

—— 7月に始まったばかりですが、患者さんの利用状況を教えてください。

佐々木先生 完全予約制ですが、いつも予約でいっぱいです。予約を頂いても、1~2週間はお待ち頂いています。約半年間経ちますが、この状況を見ると、いかに統合医療外来に対するニーズが高いかを感じるようになりました。



—— 統合医療・鍼灸外来を受診する患者さんはどのようなことに注意すべきか教えてください。

佐々木先生 鍼灸外来はオーダーメイドの治療です。患者さんひとりひとりに合った治療ですので、患者さんが治療者に自分の容態を正確に伝えることが大切です。そのため、患者さんにも大いに健康や医療について勉強して頂くことが大切だと思います。アメリカなどでは、患者さんが治療方法を自分で選択する時代になっており、おそらく日本でもそのような時代になってくると思います。メディカルバレーには、統合医療に関する普及啓発を今後も積極的に行って頂きたいと思います。